

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課
 担当名：試験研究調整担当
 内線：4035

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B6	鶴ヶ島試験地移転整備事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農林総合研究センター費	
事業期間	平成23年度～平成26年度	根拠法令	なし			戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化		
						分野施策	030201 収益力ある農業の確立		
<p>1 事業の概要 農業大学校移転に合わせ、鶴ヶ島試験地を農林総合研究センター本所内に移転するための各種整備を実施する</p> <p>事務費の節減による減額（留保分減額） (1) 整備事業費 1,344千円</p>				<p>5 事業説明 (1) 事業内容 ア 整備事業費 鶴ヶ島試験地を農林総合研究センター本所に移転するための各種整備のうち農機具舎等建築及び備品等移転・整備の実施</p> <p>(ア) ほ場整備工事 整地工事、用・排水路工事、道路敷設工事 (イ) 施設建築工事 温室、資材庫、農機具舎、燃料庫、受水槽 (ウ) 備品移転・整備 試験研究用器機等備品の移転・整備 (エ) オオタカ生態調査 調査</p> <p>(2) 事業計画 ア ほ場整備工事 平成22年度 測量・設計 平成23年度 整地工等 平成24年度 用・排水路、路盤工 平成25年度 道路舗装工、建物周囲整備 イ 施設建築工事 平成23年度 設計 平成26年度 農機具舎等建築 ウ 備品等移転・整備 平成26年度 移転・整備 エ オオタカ生態調査 平成23年度～24年度 調査</p> <p>(3) 事業効果 ア 研究施設が集約化されることにより、今後の研究投資を集中しやすくなり、研究環境の充実が期待できる。 イ 本部機能や他の研究部門との結びつきが強化され、効率的な研究体制の構築やよりダイナミックな研究の実施が図られる。</p> <p>(4) 補正予算の概要 経費節減に伴う減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 地域活性化事業債（405,000千円）の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に参入される。</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし</p>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,344	県債						344	448,499
現計額	449,843							843	